

話題を集めた「倭人伝」、劇団青年座による「肥前松浦兄妹心中」と、このところ注目の的となっている劇団「空間演技」。三部作の完結編は「日輪」。ボンボンと飛び出す小気味良い九州弁と、奔放なまでの動きで、公演を第16回を迎える。師・岡本喜八の映画「ダイナマイトどんどん」では劇団員を引きつけて、賭博屋で念願の出演。乗りに乗っている感の岡部耕大。しかし何と言っても一番の魅力は岡部自身の作品を「空間演技」の役者が演じることにあります。公演は6日から15日まで国際芸術家センターで。24時間テレフォン予告編も実施中。
☎715 1339



その力量を大きく買われている岡部耕大率る空間演技が、書き下し新作「日輪」を赤坂国際芸術家センターで上演。岡部の生まれ故郷である長崎県の方言を用いた手法は賛否両論だが、若手劇作家・演出家が待たれていた劇界に新風を送りこんでいるのは確か。岸田戯曲賞の候補の一人にのぼっている。11月6日から15日まで、前売り1,200円。予約・問合せ/TEL 6299、テレホン予告編をやっているので興味のある人はTEL 1339(24時間)まで。

流行通信 12月号

劇団空間演技

★一

「日輪」を発表

★劇団空間演技では、岡部耕大作・演出の「日輪」を6日から15日まで赤坂の国際芸術家センターで。岡部は九州出身で、ことし「倭人伝」(肥前松浦兄妹心中)(青年座で上演)そして、この「日輪」といずれも九州の土着性のうたを立つ一冊作を発表、今年度の岸田戯曲賞の本命にあげられている新進劇作家。出演は影平莊児、赤穂清計と天竹まこと(六芸社)姉長義雄(新八幡人)吉村剛(青年座)が客演する。前売り1200円、当日1400円。平日夜6時30分、土日は昼2時と夜6時30分。電話15局一三三九、空間演技。